



大阪早稲田倶楽部



2018. summer

vol.173

総会報告：大阪早稲田倶楽部定時総会…………… 1

総会講演：チベット密教から学ぶこと…………… 2

ゴルフ：早慶対抗ゴルフ連覇／青年部も熱いゴルフ… 3

食へ歩き会：榛原牛をしゃぶしゃぶで食す…………… 4

Wフォーラム：中国人から見る日本の魅力…………… 5

大阪早稲田女会：女度を上げる！メイク講座…………… 6

大阪早稲田女会：大相撲を生で観戦。迫力満点…………… 7

寄稿：大隈侯の里を訪ねる…………… 8

てくてくハイク：西宮・甲山を歩く…………… 9

稲雲会：俳句会一年の歩み…………… 10～12

Wフォーラム講演：小説する新人賞受賞作家が語る『京都で書いたのしみとは？』… 13

写真部会：飛行機撮影の聖地「伊丹」に集う… 14

倶楽部祭：多士済々の会員が集う倶楽部祭… 15

寄稿：宇和島・遊子水荷浦の段畑…………… 16

校友会：早稲田大学校友会大阪府支部… 17

平成30年度役員・理事名簿…………… 18・19

倶楽部活動実績・計画／早稲田大学・新総長に田中愛治氏… 20

収支計算書／大阪早稲田倶楽部は来年は100周年… 21

10th Anniversary

HOTEL LA SUITE KOBE HARBORLAND



LA SUITE Co., Ltd.



「一休.com」2017年度 口コミランキング
シティホテル部門 2年連続全国1位



ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド
神戸市中央区波止場町7-2 [Tel] 078-371-1111



開業10周年を迎える
スモールラグジュアリーホテル

「一休.com」2016年度 売上ランキング
旅館部門 西日本1位



神戸みなと温泉 蓮
神戸市中央区新港町1-1 [Tel] 078-381-7000



京阪神初の厚生労働省認定
天然温泉利用型健康増進施設

「Bridal navi」結婚式場人気ランキング
都道府県別 兵庫県1位



ラ・スイート神戸オーシャンズガーデン
神戸市中央区新港町1-2 [Tel] 078-381-7777



270度みなと神戸を望む
コンベンション&ウェディング

「ぐるなび」現役秘書が選んだ
お中元・手土産ランキング全国1位



ル・パン神戸北野 本店
神戸市中央区山本通2-7-4 [Tel] 078-251-3800



ホテル直営スイーツ&ベーカリー
ル・パン神戸北野 伊丹空港店OPEN

早稲田大学校友会会員様へ各種優待サービスをご用意しております。

株式会社ラスイート 代表取締役社長 関 寛之(平成8年 理工建築卒)

大阪早稲田倶楽部定時総会

100周年に向け、力の結集をと呼びかける山澤会長



大阪早稲田倶楽部の2018年度定時総会が5月11日、大阪新阪急ホテルで開催された。130人が出席。第一部の講演会では、学校法人清風学園専務理事で清風中・高校の校長の平岡宏一さん（昭和59年文）が「チベット密教から学ぶこと」と題して講演した。

第二部の総会では、2017年度の活動報告および決算、さらに2018年度の活動予定と予算案などがはかられ、承認された。役員人事では、任期2年の理事のほぼ半数が改選となり、新任9人を含む36人の理事が選任された。残り任期1年の理事（34人）と合わせ、理事は70人となった。執行役員は、山澤和会長（昭和46年法）、熊澤一郎理事長（昭和51年商）のほか6

人の副理事長、和田浩孝事務局長（平成元年教育）、監事2人ら全員の留任が承認された。

倶楽部は大正年間の創設以来、100年を迎えんとしており、挨拶に立った山澤会長は「100周年に向け、後世に向けても胸を張れる倶楽部としたい。今年、来年と各部会で



司会はフリーアナウンサーの青柳万美さん

も様々なイベントに100周年の冠をつけて盛り上げを図ってほしい。倶楽部がいっそう充実したものになるよう力を合わせましょう」と述べた。

既に100周年に向けた理事らによる企画準備委員会や100年史プロジェクトなどが立ち上がっており、今後、動きが活発化する。

総会には、大学本部から島田陽一・副総長のほか近隣の校友会支部から京都府支部長の山本晃生さん、兵庫県支部長の高梨柳太郎さん、滋賀県支部長の大平順一さん、早稲田大阪学園の学園長の堀龍児さんらが来賓として出席された。

第三部の懇親会では、講演の平岡さんや新入会員らを囲んでなごやかな立食パーティーが催された。大学本部では早稲田の記念会堂が装い新たに早稲田アリーナとして誕生することになり、そのアリーナ募金に多額の支援をした角和夫・倶楽部元会長（昭和48年政経）に島田副総長から感謝状が贈られた。



島田副総長（右）から感謝状を贈られた角さん

また、大阪稲門グリークラブの男声合唱の美しいハーモニーが会場に心地よく響きわたった。締めめの校歌斉唱では、応援部OBの根岸孝さん（平成29年商）と白原早織さん（平成11年人間科学）が澆刺としたエールでリードした。

<※平岡さんの講演要旨、役員・理事名簿、2017年度決算、18年度予算・活動計画などは別ページを参照ください>



熊澤理事長は角帽をかぶってステージへ



元気いっぴいのリードの根岸さん（右）と白原さん



素晴らしい歌声の大阪稲門グリークラブ

チベット密教から学ぶこと

小林 一則(昭和55年政経)

倶楽部総会(5月11日)では、学校法人清風学園専務理事で清風中・高校の校長の平岡宏一さん(昭和59年文)が「チベット密教から学ぶこと・利他の心『菩提心』と『マンドラ』」のテーマで講演した。

平岡さんは清風学園を創設した平岡宏峯氏の孫。清風高から早大に進学。卒業後、高野山大学大学院(密教学)に進まれ、1988~1989年には、チベット密教最高の学問寺で、中国政府の圧迫から逃れてインド南部に移っていたギュメ寺に留学。外国人として初めてギュメ寺よりCERTIFICATE(正式に伝授されたことを示す証明書)を受けた。チベット密教に関する著書、論文は多数あり、チベット密教の第一人者。ダライ・ラマ法王とも交流があり、法王来日の折にはチベット語通訳を務めている。以下は講演の抄録。



菩提心という言葉があります。生きとし生ける者が苦しみから離れることを意味しますが、因果の7つの教えがあります。1つは、生きとし生けるものを母と知ること。2つ目は恩を想うこと、3つ目が報恩。4つ目は慈しみで、他者が育つことや楽と結びつくことを望むものです。5つ目は悲。対象となるものが好きであることが前提というわけではありません。相手の状態が良き状態に緩和されたいということ、苦しみから離れることを望むものです。6つ目は責任感。7つ目は発菩提心。悟りを得るためにいかに心をアップデートしていけるかということです。この菩提心を持っている人が菩薩です。

菩薩が目指すのが仏ですが、この仏には三つの身体があります。法身、受用身、變化身で、この

うち法身は、仏の一切智や煩惱障、所知障を離れた汚れの無い心で空を理解するものです。受用身というのは、三十二相、八十種好を備えた清浄な意識と風で



出来た汚れのない身体のことを言います。耳が大きく垂れ下がっているような俗に福耳と言われるものとか、耳朶環状といって耳たぶ(耳朶)に穴が開いているのが八十種好の一つです。そして變化身。これは凡夫も会える姿で、釈尊やダライ・ラマがそうです。この受用身と變化身をまとめて色身しきしんといいます。これらの身体は多くの福德を積むことによって獲得することができるものです。

少し難しいお話もしましたが、今は経営者やリーダーの方も様々なところで仏教を学んでおられます。私のきょうのお話で、みなさまにチベット密教への関心が深まっただけなら幸いと思います。



平岡さんの用意された講演資料の最後に記された弘法大師の「般若心経秘鍵」より

<夫れ 仏法遙かに非ず 心中にして即ち近し 真如、外に非ず、身を棄てて何にか求めん>

<p>収納</p>  <p>圧縮収納ケース</p>	<p>そうじ・洗濯</p>  <p>エアコンクリーナー</p>	<p>キッチン</p>  <p>万能クロス</p>
<p>トイレ・衛生</p>  <p>エチケットケース</p>	<p>美容・健康</p>  <p>スリム救急ボックス</p>	<p>インテリア</p>  <p>ウォールライト</p>

あると便利な生活雑貨が勢揃い!

★ ★ 三ツ星百貨店

3stars Department

生活に役立つ便利グッズを集めた
インターネット専門の通販サイトです。

スマートフォン
からでも
ショッピングが
できます!



詳しくは
ホームページをチェック!

楽天 三ツ星百貨店

検索

運営: (株)宝文社 TEL(06)6352-0456
担当: 松畑

早慶対抗ゴルフ連覇

滋野 雅之(昭和63年理工)

早慶対抗ゴルフ大会が5月12日、名門茨木カンツリー倶楽部東コースで開催されました。快晴のお天気にも恵まれ、本当に春らしいさわやかな陽気のもと、気持ちよくプレーすることができました。そしてわが早稲田が昨年に続いて快勝。全12回の対戦成績を8勝4敗と大きく勝ち越すことができました。天気も良く、同伴者も良く、戦績もスコアも良く。良いことづくめで、これもメンバーのみなさんの日ごろの行いの良さではないかと思わずにはられませんでした。

今回は早慶合わせて42名(早稲田24名、慶應18名)が参加。若手からベテランまで。また上級者、中級者、将来の名プレーヤーと多彩な早稲田マン・ワセジョが集まり、熱い戦いを繰り広げました。プレー後の成績発表と懇親会は、例年通りとても和やかに行われました。

今回は慶應が幹事ということで、今回で退任されまう銭高一善・関西三田会会長のご挨拶からスタートした懇親会では、会場のあちらこちらで久しぶりの再会を楽しむ姿を見受けることができました。これも毎年積み重ねてきた実績の賜だということを感じさせられ、今後も末永く続けていきたい思いを強く持ちました。

成績の方は個人戦優勝こそ慶應側に譲ったものの、2位に澤田沙都子さん(平成27年スポ科)、3位に竹田

雅幸さん(昭和46年商)とゴルフ部出身の方がきっちりと成績を残され、そのあとも早稲田の方々が続き、ベスト10のうち早稲田が7名を占めるなど参加者全員の頑張りもあり、昨年に続いての勝利を手にすることができました。



伝統の一戦を前に記念撮影



早慶戦の優勝杯を手にする山澤会長(左)

稲門上位10人 成績表(左端の数字は全体での順位)

順位	氏名	OUT	IN	グロス	ハンディ	ネット
2	澤田沙都子	44	43	87	15.6	71.4
3	竹田雅幸	43	40	83	10.8	72.2
4	森本 宏	48	47	95	22.8	72.2
5	金本基弘	47	44	91	18.0	73.0
6	山田浩貴	52	45	97	22.8	74.2
8	青野憲太郎	41	43	84	9.6	74.4
9	秋元敬典	47	55	102	26.4	75.6
12	前田 修	50	48	98	21.6	76.4
13	池部 享	49	48	97	20.4	76.6
15	滋野雅之	49	48	97	20.4	76.6

アラカルト 青年部も熱いゴルフ

秋元 敬典(平成12年商)

倶楽部の青年部ゴルフコンペは6月16日、よみうりゴルフウエストコース(西宮市)で開催しました。5組17人が参加。親睦を旨としたゴルフで、わいわい楽しく。それでも真剣にプレーし、さわやかな汗を流しました。練習を常に欠かさないアスリートプレーヤーから、まだコースデビューしてから回数を重ねていないゴルファーの卵のプレーヤーまで、一緒に競い合い、なごやかに談笑しながらの一日でした。

超パワーヒッターの酒井敏行さん(平成11年人間科学)は、この日はキャディバッグにドライバーが3本。豪快なドライバーショットが命、というだけにティーでは素振りでもブンブンいわして気合十分。スタートの10番ではやや右ラフだったものの260ヤード。300ヤード

超えも珍しくないだけに不本意かもしれないが、それでもすごい。そこから先は素直なゴルフ。酒井さんと一緒にラウンドしていればほんとに楽しいです。

ここで、先輩方に感謝御礼です。先の早慶戦で出された賞品の多くをわれわれのコンペに提供くださり、ほんとにありがとうございます。さらに吉川一三校友会大阪府支部長、山澤俱和会長、熊澤一郎理事長、森本宏副理事長、和田浩孝事務局長ほか幹部のみなさまにも別封の熱い志を頂戴し、また小西康仁副理事長からはたくさんの賞品を。厚く御礼申し上げます。優勝は、澤田沙都子さん(平成27年スポ科)が飾りました。



澤田さん(手前右)は早慶戦も青年コンペも大活躍

榛原牛をしゃぶしゃぶで食す

伊藤 馨(昭和51年政経)

食べ歩き会は59回を数えました。今回は、春は桜、宇陀の佛隆寺の花見など楽しみましょう、ということで奈良は榛原まで出向き、「うし源」でしゃぶしゃぶをいただくことになりました。ここは創業130年の老舗で高級和牛の店です。4月21日、近鉄大阪線榛原駅に集合し、旧街道を歩いて5分で店に到着します。この日は13名、靴を脱いでゆったり3階の和室貸し切りです。



乾杯の後、早速食事が始まり、付きだし、しゃぶしゃぶ、

ごはん、デザート、と続きます。榛原は古くから牛肉の産地で、ここ「うし源」のしゃぶしゃぶ霜降り肉は脂が程よく降り、熱い出汁に軽く通して口に入れるとトロットとする食感がたまりません。お腹がもたれず食べても食べても食がすすみます。野菜は地元宇陀で採れたものを、ということでとても新鮮でした。

お酒もワインも店主のこだわりがあり、こちらもどんどん進みます。常連の福島宏治さん、野中民蔵さん、田尾秀寛さん、小泉じゅん子さん、金吉正勝さんら諸先輩、アコーディオンの杉村寿治先生、畑光栄さん、藤崎京子さん、初参加の富島和男さんなどなど、にこやかな顔ぶれが近況を報告し、とりとめもなく語らい合いました。美味しくて、肉も追加、お酒も追加、最後はうどんを煮込み、これでメ。メた後もだれかまた

お酒を注文してまた飲む、といった様で、早稲田ならでは、の、ざっくばらんで和気藹々の宴でした。

今年は春が早く当日は桜の開花が終わっていたため、長谷寺の牡丹を見ようと企画しました。花と酒と食の三拍子のはずが、宴が長引き、花を愛でる時間なく、結局この日の食べ歩き会は食べて飲んでおしまい、となりました。よい日に恵まれ、こころよいメンバーが集い、昼から楽しく食べ、酔い、成り行きまかせの食べ歩き会ではありました。

今年、食べ歩き会の委員が交代し、井上敏彦さん（昭和51年文、企画担当）、千切智世さん（昭和62年商、会計担当）、大塚紹子さん（平成元年文、渉外担当）が加わりスタートしました。まだまだ至らないところありますが、今後ともよろしくお願い致します。

不動産・動産に関わる資産評価を通じて、トータルコンサルティングサービスをご提供

株式会社 財産プランニング研究所

【不動産の鑑定評価】

<http://www.z-plan.jpn.com/>

株式会社 ソリューション・ジャパン

【ABL・動産評価（機械設備・在庫品等）】

<http://www.solution-j.co.jp/>

代表取締役・不動産鑑定士 **熊澤 一郎**（昭51年 商）

E-mail : i-kumazawa@z-plan.jpn.com

<大阪オフィス> 〒541-0041 大阪府中央区北浜 1-5-5 大阪平和ビル 6階

TEL : 06-6229-0050(代) FAX : 06-6229-0051

<豊中オフィス> 〒560-0011 豊中市上野西 1-10-7

TEL : 06-6854-0002(代) FAX : 06-6849-3355

中国人から見る日本の魅力

山元 唯光(昭和59年政経)

様々なジャンルで活躍されている方を招くWフォーラム講演。6月1日は中華圏の旅行者を対象とした旅行会社を運営するかたわら、観光庁のビジット・



ジャパン・キャンペーン講師として日本各地で講演活動もされ、自ら通訳ガイドを務めたりと多彩な活動をされている陸茂思さん(平成7年文院)を講師に迎え、大阪新阪急ホテルで開催しました。

陸さんは、広州から来日して20年余り。日本の伝統文化を探求し、中華圏からの旅行者に、通り一遍ではないユニークな旅を発信しています。

中国といっても、大陸に台湾、香港などニーズも考え方もかなり異なるようです。そんな中国の人たちが何も求めて日本に来るのか。実際に日本に来てどう感じているのか。日中の事情に詳しい陸さんは中国人旅行者の本音を語ってくれました。

1. 中国語通訳案内の難しさ

中国大陸からの旅行者(中国人)は日本文化や歴史に興味を示さない。台湾からの旅行者(台湾人)は日本文化や歴史を良く勉強している。20年くらい前にビジネスで来日した人たちは買う物を吟味し1時間くらいかけて選んでいたが現代の訪日客は「一番高いものをください」と言う。

2. 中華圏の訪日観光客から見た日本の魅力。

例えば関空を利用する場合、中国人はホテルを関空近くに取り、ひたすらアウトレット等で買物に興じる。日本の歴史、文化、景勝地には興味が



なく、日本の事を知ろうともしない。折角の機会なのに中国人が経営する安価なレストランに行ったりする。一方、インバウンドのリピーターとなる台湾人や香港人は、日本のおもてなしを求めて来ており、それだけで十分と言える。

3. 中国人から見た日本の不思議

- ・サービス業に年配者が従事している。(旅館や高速道路の料金所) →お金がないからリタイヤ出来ないの? 日本人:仕事=生甲斐 中国人:老後=公園でダンス
- ・カラスが多い。→カラスが好きなの? 神の遣いなの?
- ・小学生は冬でも短パンやスカートを穿いている。→リューマチにならないの?
- ・ぶつかった時、お互い、スミマセンと言う→自分は悪くない時でもなぜ?
- ・ホームレスが多い。
- ・エロ本が堂々と店に並べられている。

えーっ、そうなんだとびっくり! 目から鱗のお話でした。政治的事情、文化や言語の違いから、中華圏からの旅行者の要望にきめ細かく対応するのは、かなり難しいことと思います。陸さんのような日中双方の文化に精通し、北京語のみならず少数派となった広東語を操れる仲介役の存在は大きいと感じました。これからも日中の架け橋となってみんな仲良くなれるよう、よろしくお願いいたします。

女度を上げる！メイク講座

白原 早織(平成11年人間科学)

今や早稲田大学は3割は女子学生というから、4年でその数1万5000人。女子大ではないもの女子学生は日本一多い大学だそうです。さて、大阪。校友ワセジョも元気です。倶楽部の部会として誕生した「Osaka Waseda Girls」・大阪早稲女の会を中心に先輩、同輩、後輩とわいわい楽しくやっています。そこでこの度、ワセジョのパワーをますますアップさせようと、これから夏に向け、メイクのプロに女度を上げる秘訣を伝授してもらいました。

5月27日、やって来たのはナリス化粧品「Del'm心斎橋エステサロン」です。今年流行りのカラーを使った、女度を上げるポイントメイクです。倶楽部会員のナリス化粧品・伊藤健司取締役(平成元年政経)のお世話になりました。

参加者一人にエステティシャン一人のマンツーマン体制で、ゆったりとメイクの手ほどきを受けました。まず、下地を塗り、ファンデを塗り、チークを塗り。普段と比べると随分と塗った感じがするのですが、仕上がりはとてもナチュラルで素敵になりました。帰りには、ファンデと拭き取り化粧水のお土産を頂き、良かった良かった。

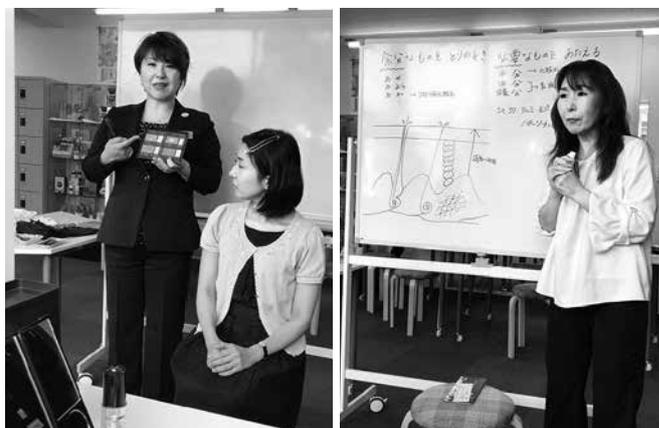
メイクは最近、男性客も増えているそうです。見た目や年取がわかる、というデータもあるとか。感じの良い身だしなみやオシャレは仕事にも良い影響があるという事ですね。

ナリス化粧品のエステサロンは全国各地にあって、1600円からと、とてもリーズナブルです。CMでの宣伝をする代わりに、キレイを体験してもらう事を大



切にしているそうです。口コミで80年の化粧品会社、素敵だなと思いました。変身後に、みんなで写真を撮り、大満足の日でした。

ちなみに伊藤取締役は、お噂によると倶楽部のオジサマ族には稀な(笑)清潔感たようイケメン。素敵な重役さんでした。♡♡



和田総合会計事務所

株式会社 豊能計算センター

「経営者と共に考える」という基本スタンスで日々努力しています。

多様化するご要望に万全の体制でサポートいたします。

所長 税理士 和田 浩孝 (平成元年 教育学部卒)

〒560-0021 豊中市本町7-4-18 和田ビル TEL:06(6849)5631 FAX:06(6848)1337 mail:hiro-m.wada@tkcnf.or.jp

大相撲を生で観戦。迫力満点

白原 早織(平成11年人間科学)

春色が濃くなり出した3月11日(日)、ワセジョ(Osaka Waseda Girls 大阪早稲女会)10人で、エディオンアリーナ大阪(大阪府立体育会館)で開催されている大相撲三月場所の観戦に出かけてきました。

フリーアナウンサーの青柳万美さん(平成18年文)が相撲部屋で司会のお仕事をされているご縁から、レアものの初日の観戦チケットを一般販売に先駆けて入手いただき、この会が実現しました。何かと話題の多い相撲界ですが、闘う力士たちの勇姿を応援しようと元気なワセジョが集いました。相撲を生で観戦するのは初めてという人がほとんどで、わくわくの会場入りでした。

正面椅子席でNHKの放送席の下の座席位置でした。テレビカメラには映りませんが、東西の力士が見える絶好の場所です。相撲に詳しい青柳さんは初心者の方たちのためにお手製の見どころ・観戦ガイドのプリントを用意してくださり、加えて丁寧なわかりやすい解説もしていただき、とても興味深く、楽しく観戦することができました。

この日は東日本大震災が7年前に起こった日でしたので、力士と会場全員で黙祷を捧げました。相撲の対戦はテレビで観るのとは違って、迫力満点です。オペラグラスで力士の力強い姿をアップで楽しむことができましたし、力士の気合の入った声やぶつかった時の迫力ある音を生で耳にすることができて、それはそれ



後ろの力士はもちろんパネルです。でも実物大

はすごかったです。入口付近や通路では力士や親方にすれ違ったり、力士の土俵入り前の嬉しい背中を間近で見られたり、テレビでよく見るNHKの解説委員の方と挨拶が出来たり。もうすっかりミーハー状態でした。

何だかんだと観戦しているうちにあっという間に時間が過ぎていきました。青柳さん、ほんとにありがとうございました。普通ではこんな機会に恵まれないのでとても良かったです。来年もまた開催できたらと思います。好評でしたので来年は定員を増やす予定です。みなさま、今から来年の予定の心積もりをしておいてくださいませ。お子様連れでも安心してご参加いただけます。食べ物もお酒も持ち込み可なので、みんなでわいわい楽しく観戦できます。チケットは今年は3,800円(椅子席C)でした。4歳未満のお子様はチケット代不要です。



会場前は幟が立って雰囲気満点



かぶり席じゃないけど存分に楽しめました

大隈侯の里を訪ねる

熊澤 一郎(昭和51年商)

去る5月25日午後に九州沖縄不動産鑑定士協会連合会の第7回通常総会が佐賀市内で開催され、私は日本不動産鑑定士協会連合会の副会長として参加しました。

それに先立ち、午前中に以前から訪れたかった大隈重信記念館を見学させていただきました。

記念館は、大隈侯の生誕125年を記念して昭和41年に開館。50年を超える歴史がありますが3年前にリニューアルされ、装いも新たに多くの観光客や稲門の方たちが訪れています。大隈侯の生い立ちから結婚、ご家族、人生観、世界観などを様々な展示を通して知ることができるものです。天保9年(1838)に生まれた大隈侯の生家は記念館の敷地内にありますが、天保以前の武家屋敷の面影を残した貴重なもので、国の史跡に指定されています。毎月5の付く日は「ごつつんの日」(意味は行かれてご確認ください)として2階の勉強部屋まで拝見出来ます。記念館の展示品の中には大隈侯の義足もありました。外相だった明治22年、公邸前で暴漢に襲われ、右足切断の重傷を負い、以来、使用していたものの1本です。命がけで政界をわたり歩いた様子がかがえました。

訪れた折はちょうど早稲田佐賀中学校の生徒さんたちが校外学習で来られていました。また大阪早稲田倶楽部会員であることを告げたところ、記念館・生家では前館長さんに丁寧にご案内いただきました。感謝で

す。訪ねてほんとに良かったと思います。みなさんもぜひお訪ねください。



多くの人を魅了する大隈重信記念館



佐賀市内の商店街には大隈侯にちなんだバナナも掲げられている



国の史跡になっている大隈侯の生家



大隈侯の銅像も建つ

西宮・甲山を歩く

山口 守(昭和51年文)

5月のてくてくハイキングは宝塚稲門会との共催で、12日、西宮の関西学院大の時計台や甲山森林公園を巡り歩いた。参加は16名。

阪急甲東園駅からまず、山陽新幹線の六甲山トンネルの新大阪側出入口の真上にある新幹線公園に行く。鉄道ファンの隠れスポットらしく、結構賑わっていた。

続いて甲山を借景にした関学キャンパスの芝生広場を散策。時計台内部の歴史博物館を見学させてもらった。早稲田も歴史館が2018年3月20日にオープンしたばかりだ。関学キャンパスの景観は日本一と言われているだけあって、すごく綺麗だ。早稲田のキャンパスは大学周辺の学生街の賑やかさを含めてキャンパス10選に選ばれており、関学とはまた違った趣だ。

関学の学食にも寄らせてもらった。一般客も多く、混雑していて、トレーを持って順番待ち。参加者の一人が近接の県立西宮高時代に鼻負にしていたお薦めコースカツカレー378円を賞味した。構内に流れる小川のせせらぎでは、熱中症予防のためかスズメが水を飲んでた。

関学をあとにして甲山森林公園へ。初夏の感じがするが新緑の木陰の道は涼しく、路傍にアジサイの蕾が膨らみかけている。ミストを吹き出す噴水の周りで若者たちがピクニックをしていた。公園の展望台から、真下に仁川の競馬場や、生駒山系を背景に大阪市都心部の高層ビル群が浮かび上がっているのを眺める。

甲山山頂(309m)への登山道は意外と険しく、アップダウンの体力の消耗を避けるために、途中の225m



関西学院大の校舎をバックに

標高で分岐して、山腹の水平道をたどって神呪寺へ向かう。神呪寺からの眺望も良く、鐘撞き堂では一撞き20円なので、何人かが挑戦、鐘の音が響き渡る。

甲陽園の急坂が続く住宅街を駆けそうになりながら通り抜けて、「アンネのバラの教会」へ。運よくバラが満開で、ここ独特のミステリアスなバラの色彩にしばらく溶け込む。甲陽園駅から夙川駅まで電車内休憩。夙川駅から夙川沿いの遊歩道を歩き、阪神西宮駅近くの居酒屋

で懇親会。時枝奉之さん(昭和45年院・理工研)も懇親会から参加して、好天に恵まれたハイキングが更に盛り上がった。



アンネのバラの教会で

Another story

Nettoy Newry 北大阪株式会社

名誉会長 小西清海(昭和22年政経) / 代表取締役社長 小西康仁(昭和52年商)

俳句会一年の歩み (第575回～第578回)

四月句会

2017年4月18日

兼題：菜の花・朝寝・春惜む・当季雑詠

近道は菜の花畑なりしかな
一面の菜の花畑寺ひとつ
浩一郎

掛軸の模様替へして春惜しむ
飛行雲端から薄れ春惜しむ
こうじ

知らぬ間に咲いて散り初む海棠
一人にて留守番役や大朝寝
青城

紺碧の海と菜の花隠岐の島
古民家のランプの宿に春惜しむ
いっこう

春惜しむたら芽のがきあさみどり
荒畑に山鳩の声春惜しむ
久雄

菜の花の向かうおほきな入り日かな
菜の花や辛子和へにて酒二合
けんじ

朝寝して朝湯朝酒土佐の宿
菜の花や結願の旅土佐の路
秀寛

奥能登の流人の塚につつじ燃ゆ
津軽富士霞みて白き花りんご
だいち

惜春や君去ぬる日を伝へけり
春惜しむ肌着一枚へらす朝
啓一朗

行春の古都の古刹の仁王門
風を黄に染めて花菜のそよぎかな
治

花菜風波の堤の広さかな
朝寝夢この世で会へぬひとばかり
喜代

菜の花に見えかくれする子の笑顔
花万朶うら若き娘の頬染めし
京子

菜の花が健気に揺れる二号線
客来たり菜の花をつみ辛子練る
敬子

空家守る菜の花庭を明るくし
吹きだまる花屑の下緋鯉かな
こうき

五月句会

2017年5月14日

岸和田城あたり吟行 兼題：囁目

睡蓮の咲き静もれる城の堀
夏霞む海へ立ちたる天守かな
浩一郎

水面行く一足飛びの水馬
竹林に頭覗かせ今年竹
こうじ

蛸地蔵木洩れ日の参道を行く
千亀利城曲輪吹き抜く青嵐
青城

浪を切るごとく祭の太鼓かな
岸城町山車の傷跡夢残し
いっこう

石垣も初夏の装ひ千亀利城
八陣の庭の砂紋や若葉風
けんじ

濠端の小家にばらを咲かせけり
天守から淡路かなたに夏霞
だいち

小さき朱の蘇鉄の花や天性寺
とび石の白に下りたるつつじ花
啓一朗

さざ波をたてて海風夏近し
海風の残しゆきたる余花二輪
廣子

城囲む水きらきらと薄暑かな
遙かなる明石大橋夏霞
こうき

夏霞六甲の山かくしけり
蛸地蔵地名にひかれ夏来る
雅子

六月句会

2017年6月20日

兼題：茅の輪・夏草・短夜・当季雑詠

わが棲めるあとも生ふらん夏の草
夏草の繁れるまに棲めるかな
浩一郎

昨日刈り今日も刈りけり夏の草
病院の長き廊下の明易き
こうじ

白壁の日付は去年の梅雨出水
河鹿鳴くせせらぎに沿い貴船道
青城

夏草や油の匂ふ町工場
夏草を刈りて芭蕉の句碑洗ふ
いっこう

茅の輪潜り無事半年の安堵かな
海臨む棚田を撫でて南風
久雄

ぼちぼちと納屋から出そか藤寝椅子
人の世から茅の輪ぐりて神の世へ
けんじ

施福寺や紅の石楠花門前に
夏草の朝霧散らす遍路杖
秀寛

海光り香りて白き花みかん
紫陽花のむらさき深き雨上り
だいち

短夜や橋の向うは淡路の灯
夏草や錆びゆくままの麩線路
治

青草の匂ひ茅の輪の大きかり
夏草の茫々岬へ続く道
喜代

みどり子も共にぐり茅の輪かな
短夜の語りひ尽きず早らむ
京子

余生かな茅の輪ぐりを淡淡と
踏まれても這うて強しや夏の草
こうき

七月句会

2017年7月18日

兼題：夕立・サングラス・仙人掌・当季雑詠

夕立にわらわら駆くる御堂筋
かき暗す天の底抜け大夕立
浩一郎

掛ける子の顔を食み出すサングラス
仙人掌の花空に向けラツパ吹く
こうじ

昏れなづむ遠山眺めつつ端居
夕立去り墨絵となりし薩摩富士
青城

夕立あと裾からげゆく神楽衆
大夕立小樽運河の灯を沈め
いっこう

夕立や土の匂ひの立ち昇り
雨に散って地に色添へぬ合歡の花
久雄

広重のやうな白雨に見舞はるる
夕立を後ろに飛ばしテイクオフ
けんじ

夕立やお大師さまの庇借り
高層の窓より花火船渡御や
秀寛

石畳八坂の塔へ月涼し
朝早き信濃の宿の夏炉かな
だいち

君の笑み今日は不気味にサングラス
夕立やと駒を放りし負将棋
啓一朗

サングラスを取りて嬰児をあやしけり
海峡も岩の島も夕立かな
治

夕立雲遊びの子らのちりぢりに
浮御堂湖中の句碑も夕立なか
喜代

かけ足で追いかけて夕立かな
建具替時をきざみし夏座敷
京子

句碑の辺の下闇深くありにけり
仙人掌の花瑞々し砂漠行き
廣子

跳ね返るしぶきに追はれ大夕立
世の塵のすべてを流す大夕立
こうき

俳句会一年の歩み (第579回～第582回)

八月句会

2017年8月22日

兼題:盆の月・稲の花・蛸・当季雑詠

ちちははをしきりに憶ふ盆の月
しみじみと一人をりけり盆の月
浩一郎

蛸の鳴き寺町の路地静か
里山の棚田に揺るる稲の花
こうじ

崩落の山肌照らす盆の月
仰ぎ見る銀漢の果槍ヶ岳
青城

蛸の鳴く山寺に芭蕉句碑
大文字消えて八坂の月あかり
いっこう

蛸や鳴きつぐ声のひびきあひ
新涼や糺の杜の古書の市
久雄

南無大師刈萱堂に盆の月
蓼科に蓼の花穂の揺れてをり
けんじ

地藏寺や読経に重なる蟬の声
故里の友と一献盆の月
秀寛

通夜終へてひときは風の秋めきぬ
丹波路や穂にひつそりと稲の花
だいち

母語るまだ知らぬ事終戦の日
長崎の鐘は目立たぬ原爆忌
啓一朗

蛸や六甲道の七曲り
賑はひの消えし広場や盆の月
治

林抜ければ蛸の遠ざかる
いざなぎのその斎田の稲の花
喜代

朝露に光りて見えし稲の花
稲の花朝日に光る棚田かな
京子

新涼の風にひと息付きにけり
懐かしき人に会ひたる墓
廣子

兄姉の逝きてさみしや盆の月
戦なき世を願ふのみ盆の月
こうき

九月句会

2017年9月19日

兼題:曼珠沙華・枝豆・秋の夜・当季雑詠

野辺の塚つきづきしくも曼珠沙華
秋の夜や消息絶えし人如何に
浩一郎

青空に突き刺さりけり曼珠沙華
鉄橋を渡る響きや秋の夜
こうじ

稲架の波遙かに夕日沈みゆく
石庭の一隅に咲く桔梗かな
青城

観音堂出で青天に曼珠沙華
花山院慕ふ女官や曼珠沙華
いっこう

曼珠沙華岬の果は日本海
秋の夜の波音通ふ島の宿
久雄

秋の夜モーツアルトと白ワイン
石段に萩とひと息百毫寺
けんじ

佐渡へんろ海の珍味や秋の夜
空青く西国巡礼曼珠沙華
秀寛

寒々と貧しき家も今日の月
濃紫りんどう白き風に揺れ
だいち

隣家よりくさめの聞こゆ秋の夜
秋の夜又あの人に犬吠へり
啓一朗

牛遊ぶ裾野千里や曼珠沙華
共に見し人恋ふ秋の夜空かな
治

縦断の嵐駆け抜け秋の夜
合槌を打ちて枝豆捗りぬ
喜代

曼珠沙華紺碧の空真っ直に
秋風に馬のいななき都井岬
京子

華やかに曼珠沙華活け異人秘書
曼珠沙華摘んではだめと里の子ら
敬子

踏まれれば平たく生きる秋の草
鯛雲今日のさかなは旬の味
こうき

十一月句会

2017年11月21日

兼題:神の旅・山茶花・冬日和・当季雑詠

良き晴れの続くや今日も冬日和
老妻の今日は元気の冬日和
浩一郎

境内に人影も無し神の旅
山茶花の散り前栽の暗きかな
こうじ

神の留守一人庭掃く称宜のみて
山茶花の垣根咲きつぎ散りつぎぬ
青城

猫眠る僧の読経や冬日和
冬日和安芸の鳥居に潮満ち
いっこう

雲間より眺むる濁世神の旅
大樟に風吹き騒ぐ神の留守
久雄

和の国は八百万なり神の旅
空広し鴉なきゆく神の旅
こうき

法事果て客帰りたる冬の夜
桃青忌小さきいしぶみ御堂筋
けんじ

冠雪の初の便りや富士の山
山茶花の花避け鉄垣根刈る
秀寛

木曾抜けて伊那は明るき冬日和
冬日和ひと日暮れたり骨上げて
だいち

山茶花や垣根越しなる立ち話
冬晴れや橋のたもとのきんつば屋
治

冬日和友の手紙に胸あつく
夕暮れに白き海原芒かな
京子

参拝の笑顔うるはし冬日和
冬晴れてすくとそびゆる杉木立
敬子

神旅の天満天神親子連れ
神の旅歩き疲れて甘味茶屋
啓一朗

十二月句会

2017年12月19日

兼題:年末一切・冬ざれ・おでん・当季雑詠

散るものは散って冬ざれ御堂筋
はるばると落ちゆき淀の冬ざるる
浩一郎

山の道木の葉散らして冬ざるる
枯枝に葉一枚や冬ざるる
こうじ

雪囲わしらの仕事じゃ爺二人
冬ざれや野道はるかに村あかり
青城

冬ざれや鎮守の森の群れ烏
御朱印を受けて四国の除夜の鐘
いっこう

麓の灯消えてオリオン天心に
冬風や今日の日沈みゆく河口
久雄

留守居して暖めなおすおでんかな
珈琲と新聞しばし日向ぼし
こうき

冬ざれや風に鴉の流さるる
冬座敷ただ遺影のみ坐り居り
けんじ

冬護摩の飛び火に焦げて墨衣
夜明け前通路に向ふ師走かな
秀寛

ひそやかに笑める弥勒や暮早し
万物の長き眠りや冬ざれて
だいち

冬ざれや落日迫る日本海
板チョコを二人で分ける炬燵かな
治

極月や心懸りのことひとつ
天川村湯のよろしくて日短
喜代

ことごとと煮えておでんの蓋の音
振り返り悔はあまたに年暮れし
京子

鴨に問ふ別れし人の渡り先
冬の墓疎遠の伯父と行き違ひ
啓一朗

俳句会一年の歩み (第583回～第585回)

一月句会

2018年1月16日

兼題：去年今年・新年一切

踏みしめて一日大切去年今年
去年今年古りゆく身にも事数多
浩一郎

山と空一つに包む初菫
新年や静かに迎ふ老二人
こうじ

緋袴も凛々しき巫女や初神楽
聞香の座敷包むや寒日差し
青城

一滴の若水の墨夢と書く
傘寿とて十年用の初日記
いっこう

初詣玉砂利の道音清か
たまゆらに寂しおぼゆ去年今年
久雄

語り合ふ元旦の夢淡淡と
万両の年の差低き高きあり
こうき

初トライ故郷の父雪おろし
穂を散らす雀群れ来る注連飾
けんじ

抱き地蔵抱いて祈るや初遍路
初護摩の煙でお加持信貴の山
秀寛

日溜りに何つえばむや寒雀
友の訃や見上ぐる空は雪催ひ
だいち

窓開けて今年の風を迎へけり
懐しき友のくせ字や年賀状
治

コンビニの明りは消えず去年今年
今日の日が一番若い初鏡
京子

東雲に若水を汲み身も浄め
寒の入り蔵人たちの息白し
敬子

初釜の朝老々の着付けかな
初釜のおさがり肴に大吟醸
啓一朗

二月句会

2018年2月20日

兼題：春・水菜・盆梅・当季雑詠

台所留守居の如く水菜あり
春日差母遺したる謡本
浩一郎

春立ちて流るる雲もゆるやかに
剪定を終へて庭吹く風うらら
こうじ

朝風呂の宿の背山に初音きく
夕空の淡き光や春隣
青城

月光に盆梅白く香る寺
須磨の浜人影もなし春疾風
いっこう

枯れ色の根方にみどり春ぞだつ
青き踏む離宮出づれば桂川
久雄

木の葉ゆれ返る光の春らしく
白梅をぬけ上りくる風やさし
こうき

皺の手の母ごつくりと水菜切る
人まばら女人高野は春浅き
けんじ

寅の月寅日寅刻信貴の春
盆梅展湖東に誘ふ車内吊り
秀寛

密やかに盆梅の香や通夜の家
病得て待合室の余寒かな
だいち

盆梅や百寿の宴の金屏風
盆梅の花一輪の窓辺かな
治

飛行雲ゆるゆる弛ぶ春の空
受付に盆梅のある診療所
喜代

軒水柱落つる一滴春知らせ
水仙の香りはつつむ楠公碑
京子

禅林に紅白梅のほのあかり
薄氷の鏡のやうな手水鉢
敬子

二人目の嫁す春少し遅く来よ
大夕日雲を透かして春菫
啓一朗

三月句会

2018年3月20日

兼題：菱餅・春雷・蜩・当季雑詠

この身にも清水寺の春の雪
春の雪まどうて人に会ひもする
浩一郎

峰越えて遥かに響く春の雷
老二人ゆるり菱餅飾りをり
こうじ

紫雲英田の畦道選りて近道す
早春の春に包まれし植木市
青城

湯けむりの松江の朝の蜩汁
朝の市柵に山盛る蜩売り
いっこう

まるがほのなにやらかなし流し雛
夜嵐や春雷冬を追ふらしき
久雄

春雷を遠くに聞きてカフェタイム
夕映への湖東の里の蜩舟
こうき

海原に突き刺さりたり春の雷
春陽や障子明かりに九体仏
けんじ

琵琶湖畔幟が招く蜩飯
春雷を封じ込めたる岩間寺
秀寛

肩越しに火の粉飛び消ゆお水取り
嫁がせて部屋から古き吊し雛
だいち

春雷に馬が尾を振る岬かな
春雷や阿蘇の裾野は草千里
治

けふ一と日よき日とおもふ蜩汁
雛の夜馳走とりどり菱餅も
喜代

つくしんぼ真つ直伸びて迷ひなく
速き日にザルですくいし蜩かな
京子

早起きの蜩水吹く鍋の中
水槽に水吹く蜩そつと入れ
敬子

春雷に窓震へ土匂ひける
蜩汁ひとつの砂が齧を穿つ
啓一朗



小説すばる新人賞受賞作家が語る『京都で書きたのしみとは?』

清水 憲彦(昭和53年法)

作家の話を聴くのは面白いと思う。

小説が生まれた背景や作家の体験を知ること、その小説がより立体的に見えてくるように感じる。読者はその小説を読みながら主人公の背後にいる作家を想像するし、作家もまた読み手を意識しながら小説を書いているのだと思う。小説は書き手の人生を色濃く映し出している。そういう意味でも今回の講演会は大変興味深い内容に満ちていた。

講師は中村理^{りきと}聖さん(平成22年文)。「砂漠の青がとける夜」で集英社の「すばる新人賞」を受賞している。今は彼女が浪人時代を過ごした京都の街にある出版社に勤めながら、空いている時間で小説を書くというスタイルを取っている。編集者と作家との両方の立場を経験していることが、彼女の作品にも影響を与えているように思う。作家として書きながら、同時に編集者の目でその作品を客観的に見て、読者に受ける要素を巧みに織り込んでいるように感じる。

文芸誌の新人賞を取ると、出版社から2人の担当者が付いて、3作目までは出版社がバックアップしてくれるそうだ。その担当者の意見を、彼女は比較的素直



に受け止めているように感じた。このことが自惚れや驕りに陥らず、読者の目を意識した作品作りにつながっているのだと思う。これも編集者を経験していることの強みだろう。

小説が出来あがるまでの過程も興味深い。2作目の「若葉の宿」は、着想が降りて来たと彼女は表現していたが、その時から資料を調べたり、町家旅館や老舗旅館などで取材したりという準備期間が4ヶ月程あり、その後は一気に1ヶ月半で書き上げたそうだ。書き上げるまでの綿密な準備がその小説にリアリティを与えることになっている。作家の立花隆氏は1冊の本を書くのに100冊以上の関連書籍を読むそうだが、プロの仕事というのはそういうものだと思う。試合時間より練習時間が長いのが普通だ。それに対してサラリーマンの世界では、練習もせずに会社へ来ていきなり試合する人が多いのには驚く。プロフェッショナルな仕事が出来ない理由はそんなところにあると思う

その他にもタイトルの決め方や作中人物の名前の付け方、モデルにした人物の話など興味深い話が続いたが、一番私が印象に残っているのは「最後まで書ける人が小説家になれる」という話だ。続ける力が何より大切なのだと思う。これは心しておこう。

さて、中村さんの勝負となる3作目の作品はどんな内容になるのだろうか? 2作目では彼女の住んでいる京都という土地柄が醸し出す雰囲気や作品を彩っている。これが神楽坂の老舗旅館の娘の話なら、また違った味わいになっていたと思う。作品は自分ひとりの力では書けないと彼女は言う。そんな多くの人に助けられて書く次の作品が、今はただ待ち遠しい。

第87回関西オープンゴルフ選手権(2021年5月)よみうりCCで開催



The Finest Golf Resort

YOMIURI GOLF

読売ゴルフ株式会社

〒669-1141 西宮市塩瀬町名塩北山

◆よみうりカントリークラブ 0797-61-0112

◆よみうりゴルフウエストコース 0797-62-1121

◆よみうりショートコース 0797-62-1122

さくらコース・光コース

飛行機撮影の聖地「伊丹」に集う

中村 裕美(平成22年人間科学)

<飛行機撮影の聖地「伊丹」。その美しさを堪能しませんか？>

こんな素敵なフレーズで誘われたら参加するのが当然でしょ。これまで写真部会の撮影会に何度か参加していますが、今回は気合を入れて臨みました。6月30日(土)、梅雨の最中で、大阪国際空港(伊丹空港)ターミナルビル4階の展望デッキに集合したころにはザーッと降ったりもしましたが、撮影を始めるころには晴れ上がり、参加の15名の日頃の行いが良かったのかも。

気合を入れて、と言いましたが飛行機を撮るってどんなのかわからず、ネットでいろいろ検索してみました。いっぱい出てきます。夕陽に映えたりするのは綺麗だけど絞りとか光加減とか難しいだろうなあ、間近に迫るように撮るのはすごい望遠レンズかしら。見れば見るほど、こんなの撮れっこない。でも飛行機を見に行くだけでもいいかと軽いノリで出かけましたが、さすがわが倶楽部の写真部会。北川博さん(平成10年法)に懇切丁寧に撮り方を教えていただきました。

手ほどきを受けてその通りにしてみると、あーっ、私でも撮れた。プロみたい(それはないか)。

展望デッキでひと通り撮ったあとは、この日の目玉の飛行機着陸直下地点からの撮影で近くの千里川土手に。滑走路の端っこのすぐのところであり、土曜日夕方とあってかカップルや家族連れもたくさん。悠々と



一眼レフでもデジカメでもスマホでも

真上を飛んで行く飛行機の轟音は感動ものです。歓声を上げずにおれません。オーバーですけど、こんな世界があったんだ。

そうそう撮影会でした。自由きままに撮っていいというのが会の趣旨なので、あっち向いてこっち向いて、いろいろ撮りました。スマホで撮っていた人も出来栄はすばらしい。ほんとにスマホのカメラは優れたものですね。

このあと伊丹スカイパークから夜の光きらめく空港と飛行機をパチリ。看板に偽りなし。その美しさを堪能しました。



きらびやかなカットも狙えました



着陸寸前の機影をバックに



何故か広辞苑男子が登場

多士済々の会員が集う倶楽部祭

春恒例の第51回大阪早稲田倶楽部祭（校友会大阪府支部共催）が4月7日、森ノ宮のKKRホテル大阪で開催された。新入会員歓迎会も兼ねており、64人が参加した。ホテルの窓越しに見る大阪城の桜が絶景だが、今年は早々と散っていて、葉桜見物となった。それでも花より団子、花より団子より一献、の楽しい面々が大勢集まり、わいわいがやがやの楽しい会となった。

冒頭、倶楽部会長の山澤倶和さん（昭和46年法）が「来年は大阪早稲田倶楽部100年の年です。実行委員会を立ち上げているいろいろ記念の企画、催しなどを進めます。ぜひご協力を」とあいさつ。乾杯の音頭を取った校友会大阪府支部支部長の吉川一三さん（昭和45年商）は「満開の桜を見られないのは残念ですが、きょう一日楽しい集いの花を咲かせましょう」と杯を掲げた。

家族一緒に楽しめるのがこの催しで、参加は現会員と校友・家族が46人、新入会員と家族が18人。新たな仲間となった人たちは壇上で自己紹介。証券会社や製薬会社、新聞社、不動産会社のサラリーマン・ウーマンのほか音楽プロデューサー、若くして事業を興した人や今は一線を退いて悠々自適の方まで、いつものように多彩な面々。趣味では、ベリーダンスの女性や笑いヨガにはまっている保険会社の支店長、クラシックバレエにジャズダンス、ゴルフなどこちらも多士済々だ。

新入会員だけでなく既存会員の中にもびっくりするような人が。宮下友彰さん（平成22年政経）は、趣味のマジシャンを極めるため広告会社を退職。自ら一般社団法人「国際マジシャンズユニバーシティ」協会



新入会員が恒例の自己紹介

を設立して代表となり、マジックの普及に努めている。この日もトランプを使ったマジックをテーブルで披露。カードさばきの鮮やかなのは言うまでもないが、何とかからくりを見破ろうと意地悪な目を凝らす先輩のものともせず、マジックまたマジック。歓声が上がった。

生後3か月の息子さんと初めて参加の平野悦子さん（平成19年教育）は「小さな子供連れの参加で躊躇していましたが、是非どうぞと声をかけてくださり、当日も少々不安でしたが先輩方に気遣っていただき、大阪城を一望できる景色もとても贅沢で、大変うれしく楽しく過ごすことができました」と感謝されていました。

ホテルでの楽しいひとときのあとは、大阪城公園に足を運び、先輩が植樹し、碑を建てている「早稲田の森」で記念写真。来年の再会を約した。



可愛い赤ちゃんは参加者に人気



手さばき鮮やかなマジシャン宮下さん



ホテルの窓からはサクラの花でなく新緑でした

宇和島・遊子水荷浦の段畑

準会員 林 仁



愛嬌たっぷりの
崔さん

何回かお参りしている四国遍路であるが、最近では東京在住の元職場同僚の遍路のお供をしている。2017年9月、彼から宇和島から松山までを遍路したい。ついでに宇和島で遍路の前に、遊子水荷浦（ゆすみずがうら）を先に訪ねたいとの打診あり。

そこは私も初めての場所である。宇和島到着後車を借り、出掛けた。中心部から高知方面に約1時間、一帯はリアス式海岸で、小さな半島の突端に段畑は存在した。ピラミッドの外面を連想させるような、階段状の急峻な石垣の斜面である。後ろを振り返ると、波の無い湖のような宇和海である。



石垣と作物の様子

養殖筏が多数見える。平地の無いこの地では、石垣を積みあげて山を畑にしたらしい。

駐車場に停めると目の前に「段々茶屋」なるこじんまりしたお店がある。お茶でもしようとしたら、「お店は2時までですよ」と、腰かけて飲物やスイーツの絵をスケッチをしているうら若き女性から声が。聞いて見ると、この茶屋のメニューにするものを書いて欲しいと依頼さ

れたのだという。

少し話している内に、「宜しければ案内しましょうか?」と彼女が言ってく

れ、3人で段畑へ。その女性は、中国・吉林省出身で、京大大学院に留学して、環境問題を研究している崔麗華さんであった。

細かく鋭角に刻まれた石を階段状に積むことにより、耕作不能と思われる場所に畑が作られている。作物としては、主にサツマ芋とじゃが芋とか。日当たりの良い南向き斜面なので、収穫時期が早く、味も良いのでブランド物として高い評価を受けているそうである。驚いたことに畑の巾は、広くて2mあまりで条件的に決して良い場所とは言えない。農業に携わった私には痛いほどその苦勞が実感出来る。

訪れた時は収穫後で次の播種に備え、殆どの畑に肥料として籾殻（もみがら）が蒔かれていた。半農半漁のこの地で、先祖から耕作を何代も続けてこられたようであるが、ご多分に漏れず、後継ぎは漁業や農業を嫌い都会へ。残った高齢者で細々と続けているが、耕作放棄の問題も最近浮上しているようである。数力所にモノレールが取り付けられ、上げ下ろしは昔ほどではなくなったそうだが、平地と違い斜面の上り下り、



段畑の全景

施肥、収穫全て人力で行ってきたそうだ。

その苦勞は並大抵でなく、且つ、定期的に雑草を除去しないと根が張り石垣が崩れてしまう原因になるようである。重要文化財的景観を守る為、NPO法人「段畑を守る会」や宇和島市も後方支援をしていると聞いた。どうリサーチされたか、彼女はその地にホームステイし、平均年齢を下げましたと笑っておられたが、家族同様のやそれ以上に可愛がられ溶け込んでいるとか。生き生きとしたその表情に、十分な研究成果がレポート出来ることを願いお別れをした。



段畑からの絶景の宇和海

早稲田大学校友会大阪府支部



校友会とは

早稲田大学の卒業生すべてで組織するOB会で、その数62万人。日本の人口が約1億2000万人なので、ざっと200人に1人がOBということになります。大阪府支部は、府内に在住、在職する卒業生全員が会員で、約9,000人を数えます。大正年間に誕生した大阪早稲田倶楽部とともに校友、会員相互の親睦、交流を図っています。事務局は大阪早稲田倶楽部内に置き、校友会本部からの組織活動強化費のほか、みなさんからいただいている支部会費（年間2,000円）で運営しています。

役員

支部長	吉川 一三（昭和45年商）
副支部長	向井 利明（昭和44年政経）
	福井 澄郎（昭和45年政経）
	竹田 雅幸（昭和47年商）
	高松 啓二（昭和48年政経）
	山本 竹彦（昭和50年政経）
	黒川 明（昭和52年政経）
	吉江 則彦（昭和54年理工院）
幹事長	小林 一則（昭和55年政経）

第9回 校友会大阪府支部ゴルフ大会

日時：2018年9月1日（土）
 場所：よみうりカントリークラブ（西宮市）
 組数：16組64人 競技：ダブルペリア方式
 プレー費：22,000円
 会費：5,000円（賞品、会食代） ※39歳以下と女性は2,000円
 申し込み：校友会大阪府支部事務局（大阪早稲田倶楽部内）へ

新年会

日時：2019年1月19日（土）13時～
 会場：シェラトン都ホテル大阪（上本町6丁目）
 主催：校友会大阪府支部と大阪早稲田倶楽部

評議員

大学の最高決議機関の評議員会（89人）を校友で組織。近畿選出で吉川一三氏（大阪）と中島敏行氏（昭和44年政経＝校友会奈良県支部長）。本部選出では近畿関係で小林哲也氏（昭和43年政経＝近鉄グループホールディングス代表取締役会長）と角和夫氏（昭和48年政経＝阪急阪神ホールディングス代表取締役会長）

定期総会

日時：2018年11月22日（木）
 会場：大阪新阪急ホテル（大阪市北区芝田1-1-35）
 講演：田中愛治・早稲田大学総長ほか

商議員・代議員

大学本部からの諮問審議、大学への建議を行う商議員は1,000人。代議員は校友会の最高議決機関で1,400人。大阪関係の商議員、代議員は次のみなさん。2016年6月に改選された。任期は4年

◆ 商議員（本部等選出）

小林 哲也（昭和43年政経）	中島 敏行（昭和44年政経）	福井 澄郎（昭和45年政経）
角 和夫（昭和48年政経）	村田 吉優（昭和51年政経）	黒川 明（昭和52年政経）
久保 允誉（昭和53年商）		

◆ 商議員（大阪府選出 15人）

向井 利明（昭和44年政経）	吉川 一三（昭和45年商）	山澤 倶和（昭和46年法）
稲田 増光（昭和47年政経）	岩崎 勇作（昭和47年商）	尾下 千明（昭和47年法）
竹田 雅幸（昭和47年商）	西田 隆郎（昭和47年商）	小原 正敏（昭和51年法）
山本 竹彦（昭和50年政経）	熊澤 一郎（昭和51年商）	小西 康仁（昭和52年商）
島田 隆史（昭和54年政経）	田村 昌之（昭和54年法）	森本 宏（昭和60年法）

◆ 代議員（大阪府選出 12人）

野中 民蔵（昭和40年法）	森本 充威（昭和40年商）	揚野 寛（昭和43年政経）
小泉じゅん子（昭和47年文）	尾田沙智乎（昭和52年商）	豊島 恵子（昭和52年法）
小林 一則（昭和55年政経）	種田ゆみこ（平成1年商）	和田 浩孝（平成1年教）
大西 平一（平成4年政経）	酒井 敏行（平成11年人間科学）	秋元 敬典（平成12年商）

平成30年度役員・理事名簿

会長	山澤 倶和	(昭46年法)	副理事長	小林 一則	(昭55年政経)
理事長	熊澤 一郎	(昭51年商)	副理事長	森本 宏	(昭60年法)
副理事長	尾田沙智乎	(昭52年商)	監事	岩崎 勇作	(昭47年商)
副理事長	小西 康仁	(昭52年商)	監事	種田ゆみこ	(平1年商)
副理事長	豊島 恵子	(昭52年法)	事務局長	和田 浩孝	(平1年教育)
副理事長	田村 昌之	(昭54年法)	会計	酒井 敏行	(平11年人科)

新任理事
(任期2年)
36名

山田 純子	(昭38理工)
吉川 一三	(昭45商)
藤井 俊男	(昭45法)
藪本 光彦	(昭46法)
稲田 増光	(昭47政経)
小泉じゅん子	(昭47文)
竹田 雅幸	(昭47商)
野村 公平	(昭47法)
木下 斉	(昭48商)
奥野 富雄	(昭49社学)
山口 守	(昭51文)
尾田沙智乎	(昭52商)
豊島 恵子	(昭52法)
島田 隆史	(昭54政経)
中司 宏	(昭54文)
田村 昌之	(昭55法)
費川 芳郎	(昭57教育)
河野 一博	(昭59社学)

中村 雄一	(昭59理工)
大久保 滋	(昭60政経)
三木 基司	(昭61教育)
滋野 雅之	(昭63理工)
嶋田 泰夫	(昭63政経)
大塚 紹子	(平1文)
石原 美保	(平4法)
関 寛之	(平8理工)
白原 早織	(平11人科)
秋元 敬典	(平12商)
北側 元之	(平14教育)
岩谷 良平	(平15法)
北垣 博章	(平15政経)
柴田 英和	(平17政経)
八田 禅	(平17文)
北野 后子	(平18法)
松井瑛太郎	(平22法)
中谷 睦	(平23教育)



北浜法律事務所

KITAHAMA PARTNERS

弁護士 森本 宏 (昭和60年法)

<http://www.kitahama.or.jp>

□北浜法律事務所・外国法共同事業

〒541-0041 大阪市中央区北浜1-8-16大阪証券取引所ビル

TEL.06-6202-1088(代)

FAX.06-6202-1080

□弁護士法人北浜法律事務所東京事務所

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12サピアタワー14F

TEL.03-5219-5151(代)

FAX.03-5219-5155

□弁護士法人北浜法律事務所福岡事務所

〒812-0018 福岡市博多区住吉1-2-25キャナルシティビジネスセンタービル4F

TEL.092-263-9990(代)

FAX.092-263-9991

平成30年度役員・理事名簿

現任理事 (任期1年) 34名	大塚征慈郎 (昭38政経)	佐藤 光宏 (昭53理工)
	津野 英男 (昭40政経)	小林 一則 (昭55政経)
	森本 充威 (昭40商)	田中啓一朗 (昭55社学)
	河田 一彦 (昭42商)	稲部 勝博 (昭60商)
	揚野 寛 (昭43政経)	大橋 哲也 (昭60政経)
	小林 哲也 (昭43政経)	森本 宏 (昭60法)
	廣末 雅昭 (昭43理工)	千切 智世 (昭62商)
	田尾 秀寛 (昭44商)	和田 浩孝 (平1教育)
	向井 利明 (昭44政経)	大西 平一 (平4政経)
	今澤 哲朗 (昭45政経)	古田 哲也 (平4政経)
	山澤 俱和 (昭46法)	梅原 秀昭 (平5法)
	西田 隆郎 (昭47商)	前田 修 (平6政経)
	角 和夫 (昭48政経)	酒井 敏行 (平11人科)
	保田 洋三 (昭48法)	伊丹香寿美 (平16法)
	伊藤 馨 (昭51政経)	藤田沙穂里 (平16法)
	井上 敏彦 (昭51文)	
	熊澤 一郎 (昭51商)	
	藤原 充 (昭51商)	
	小西 康仁 (昭52商)	

ウコン、しじみと比べてください！
「柿ポリフェノール」を使ったサプリメント

「こんな方にオススメ！」



住江織物株式会社
SUMINOE TEXTILE CO., LTD.

近畿大学
KINDAI UNIVERSITY

共同開発商品



お求めは

柿ダノミ

検索

メーカー希望小売価格
10回分 1,500円(税別)



「平成 28 年度奈良県高付加価値
獲得支援補助金ご当地食品開発
事業」に採択され開発した商品

代表取締役会長兼社長 吉川一三 (昭和 45 年 商)

倶楽部活動実績・計画 ◆◆◆

2017年度活動実績

1. 倶楽部財政黒字化の定着化
事務合理化の積極的推進 発送文書費の削減
2. 早稲田倶楽部祭の開催
4月8日(土)、於:KKRホテル大阪。理事会および新人歓迎会と同時開催。倶楽部祭終了後に大阪城公園内の早稲田の森を見学
3. インターネットの活用
ホームページからの入会者の対応 17年度入会者46名のうちHP入会17名
ホームページの更新
メールマガジンによる各種行事案内等の連絡・応募・出欠確認
フェイスブックのグループページの活用
行事案内その他一斉メール 111回/年
4. 校友会支部活動との連携
校友会支部と共催の文楽鑑賞会への参加 1月13日(土)参加23名
校友会支部と共催の新年会への参加 1月20日(土)参加121名 世代間の融合バンド演奏
5. 部会活動
 - ①学問活用の杜(勉強会)年2回(5月33名、11月45名)
 - ②関西演劇文化研究会 文楽、新歌舞伎座、大阪交響楽団、ピッコロ劇団、宝塚歌劇、梅田芸術劇場、よしもと落語無料鑑賞会。年間参加286人
 - ③青年部 ゴルフ、夏の宴、夕方のクリスマス会、スピンオフ女子会
 - ④Wフォーラム 年8回
 - ⑤史談会 年10回 「大阪と映画」笹川慶子氏ほか
 - ⑥ゴルフ 5月、7月、9月(校友会)、11月(全国校友会)、12月、3月
 - ⑦食べ歩き会、ハイキング、湯ハビリ愉会、俳句会、カラオケ、経済、囲碁

2018年度活動計画

1. 大阪早稲田倶楽部100周年記念行事立案と実行
2. 倶楽部財政健全化の維持
さらなる事務処理効率化と諸経費の削減推進
3. 会員の増強による会費収入のアップ
現行会員661名(2018年3月末) 目標会員670人
4. 校友会支部行事との連携強化
共催行事である新年会、倶楽部祭への積極的な参加者募集、オープンキャンパスへの参加(毎年7月開催)
5. 広報活動の充実
倶楽部ニュース、年誌の発行、ホームページの運用強化
6. 新入会員の追補および修正版名簿の作成ルーチン化
7. ホームページの拡充および充実
8. サイレント会員の掘り起こし
新システムに各行事の参加者を入力してサイレント会員の実態把握、連絡強化
9. 新人歓迎会の年2回開催
4月と10月 定着化
10. 部会の本格的活動
Wフォーラム、学問活用の杜、関西演劇文化研究会、クラシック音楽鑑賞会、ハイキング部会、大阪早稲女会
11. 青年部活動の活性化
在阪企業の早稲田OBとの交流会の企画立案。活動中の若手中心の勉強会を核とした異業種交流会の実施。暑気払い、クリスマス会の実施。ゴルフコンペの開催

早稲田大学・新総長に 田中^{あいじ}愛治氏



早稲田大学の鎌田薫総長が11月で任期満了を迎えるにあたり、総長選挙が6月に行われ、田中愛治・政治経済学術院教授(66歳)が第17代総長に選出された。任期は11月5日から4年。大阪新阪急ホテルで11月22日に開催の校友会大阪府支部総会に出席の予定。

田中氏は東京生まれで私立武蔵中、高校出身。1975年(昭和50年)に政治経済学部を卒業。青山学院大教授などを経て1998年に政経学部教授に。2014年より学部横断的な授業を担当するグローバルエデュケーションセンター所長。ほかに文部科学省中央教育審議会委員、日本学術振興会委員なども務めている。専門は計量政治学、政治過程論。世界政治学会の会長も務めた。

総長選挙は、田中氏と副総長で法学学術院教授の島田陽一氏(65歳)、教育・総合科学学術院教授の藁谷友紀氏(63歳)の3人が立候補。1回目の投票では過半数獲得の候補がおらず、1位の島田氏と2位の田中氏による決選投票となっていた。決選投票は田中氏1899票、島田氏1692票だった。政経学部出身の総長は第9代の時子山常三郎氏以来50年ぶり。

収支計算書

(2017年4月1日～2018年3月31日)

収入の部		
会費	8,287,280	
寄付金	30,000	
出版協力金	339,676	
事業収入	1,587,000	
雑収入	406,536	
保証金戻り収入	400,000	
当期収入合計	11,050,492	
支出の部		
事業費	事業費	2,564,591
	印刷費	645,300
	会員名簿	0
	小計	3,209,891
経費	給料・諸手当	2,981,295
	家賃・共益費	1,529,408
	通信費	451,006
	消耗品費	1,119,703
	振替手数料	78,610
	慶弔接待費	50,000
	雑費	416,371
	予備費	0
小計	6,626,393	
備品購入支出	0	
当期支出合計	9,836,284	
当期収支差額	1,214,208	
前期繰越額	13,486,991	
次期繰越額	14,701,199	

(単位・円)

大阪早稲田倶楽部は 来年は100周年

大阪早稲田倶楽部

会長 山澤 俱和 理事長 熊澤 一郎

大正年間に産声を上げた大阪早稲田倶楽部は来年2019年に創立100周年を迎えます。記念式典やイベントの開催、100年史の刊行などを展開します。また、各部会のイベントには100周年記念などの冠をつけて節目の拡大行事として進めていきます。

これまで周年記念事業は行われていませんでしたが、大きな節目の年を迎え、倶楽部のみなさまのご協力を得て素晴らしいものにしようとして100周年記念事業実行委員会を立ち上げ、企画を練っているところです。

記念式典は来年5月25日(土)、大阪新阪急ホテルで開催します。式典のほか定例総会・記念講演会、懇親会を午後から夕方にかけて行います。

記念事業実行委員会は役員・理事を中心に構成し、部会として、①式典・講演部会②懇親会部会③記念誌部会④広報・記録部会⑤財務部会の5つを設置しました。今後、多くの会員のみなさんの声に耳を傾け、実のある事業にするつもりです。みなさんもぜひ、いずれかの部会に参加いただき、事業の準備、遂行にご協力いただくとともに、部会を通じて先輩、後輩の絆をいっそう深める機会にしていただければと思います。事務局か先輩、後輩にお声がけください。どうぞよろしく願いいたします。

大阪早稲田倶楽部



年誌 vol.173 発行：2018年8月

〒530-8310 大阪市北区芝田1-1-35 大阪新阪急ホテル 3階

TEL：06(6377)2002

FAX：06(6377)2003

URL：http://www.osakawaseda.jp

mail：125@osakawaseda.jp

倶楽部室開館時間：月～金(祝日、年末年始を除く)

11:00～18:00

編集／大阪早稲田倶楽部 広報委員会

印刷／大阪読売サービス株式会社

<表紙のことば>

2018年1月に大阪新阪急ホテルで開催の恒例の新年会。一堂に会した記念撮影は圧巻だ。

宝塚
歌劇

阪急阪神東宝グループ

幕が上がる、夢がはじまる。

TAKARAZUKA

Revue



©宝塚歌劇団

宝塚大劇場 東京宝塚劇場

阪急宝塚駅下車
(営業時間/10:00~18:00 水曜定休)

JR有楽町駅、東京メトロ・都営地下鉄日比谷駅下車
(営業時間/10:00~18:00 月曜定休)

●お問い合わせ TEL.0570-00-5100

※一部の携帯電話、IP電話などからはご利用いただけません。

【宝塚歌劇公式ホームページ】<http://kageki.hankyu.co.jp/> 【宝塚歌劇公式携帯サイト モバイルカラヅカ】<http://sp.takarazuka.tw/>

